



平成 26 年 9 月の園だより



保育参観・講演会

6日(土)は参観・講演会を行います。各クラス、楽しい内容を企画しています。ぜひご参加ください。

乳児：9:30～ 各保育室
幼児：10:00～各保育室

講演会：10:45～5階ホール

木のおもちゃ専門店“木や”の高橋克己さんのお話です。きっと子育ての参考になると思います。ぜひご聴講ください。

知っていますか？ 秋の七草



はぎ くず すずき なでしこ
あみなえし ふじばかま ききょう

暑い日が続いていても、日差しはいつの間にか和らぎ、秋の気配が感じられてきます。道端に目をやったり、空を見上げてみると秋が見つかるかも知れませんね。



災害に備えましょう！

災害は、いつどこで起こるかわかりません。日頃の備えはお済ですか？災害用品を揃えたり、いざという時の連絡方法など決めておきましょう。

9月1日 防災の日
9日 救急の日



消さないであなたの心の注意の火

広島市南消防署 警防課 救助係

園長 松尾龍一

募金のお礼と保育制度変更のお知らせ

8月20日早朝に発生した広島土砂災害では、小さいお子さんや高校生など、多くの方がお亡くなりになりました。心よりお悔やみを申し上げます。「安かりし、今日の一日を喜びて、御仏の前に額づきまつる」この詩を詠んだのは、大正から昭和にかけて教育界で活躍された西本願寺大裏方の大谷紘子さんです。夜、床につく前に仏壇に向かい、「今日も一日無事に過ごすことができました。有難うございました」と手を合わせておられるお姿が目につかびます。毎日無事に過ぎることがあたり前と思わず、家族が今日も元気に過ごせた。明日も子どもたちと一緒に、元気に頑張ろうと、前向きに過ごして頂ければと思っていますところ。

また、多くの方が家屋損失など被害を受けられています。1階保育室が水につかった園をはじめ、数園が被害に遭われています。一日も早く立ち直られることを心より念じるとともに、園の入り口に募金箱を置かせて頂きました。ご寄附頂いた方には厚くお礼申し上げます。配布先は保育施設になるのか共同募金会になるのかまだ決めていませんが後日ご報告いたします。

みみょうグループ全体に呼びかけています。お気持ちを箱に入れてください。

さて、来年4月より「子ども・子育て

支援新制度」に基づく「認定こども園」制度が始まります。

「認定こども園」とは、幼稚園と保育所の両方の機能や特長をあわせ持ち、地域の子育て支援を行う園となっていて、「幼保連携型」、「幼稚園型」、「保育園型」、「地方裁量型」などいろいろなタイプができ、内閣府所管の新しいタイプの園になりますが、細かい運営は市町村が対応することになっています。

幼稚園から「幼稚園型認定こども園」や「幼保連携型認定こども園」に移行すると、保育料や申込み方法など、いろいろな変更がありますが、当園のように現在保育所であれば、「認定こども園」になるうがなるまいが、申込方法や保育料の決定は従来通り福祉事務所がすることに変更はありません。

これまで通り文部科学省所管の幼稚園や厚生労働省所管の保育所のままというのもあり、少しずつ申込み方法などが変わりますので、当園から他の園に転園される場合は、事前に事務所にお尋ねください。

「認定こども園」になると、保育単価や経理処理が有利になりますが、移行には条件があったり不利になる点もありますので、当園でも検討中ですが、移行しても保護者の皆様は、保育料保護者負担金を市から園に納めるようになるだけの変更です。

私のところに来てくれた
大切な命…
そんな気持ちを忘れて
いませんか？



子どもは、大きくなるにつれて言葉も態度もえらうに…、なんて思うことがいっぱいですね。でも、子どもって、まだ数年しか生きていない、まだまだかわいい赤ちゃんなんですよ。そんな子どもが、毎日一生懸命生きているんだなあ～って見方を変えると、少し気持ちが楽になりませんか？
できなくたって、あたりまえ！焦らなくたって、大丈夫！！

全国私立保育園連盟 子育てルネッサンス運動
子育てメッセージより



秋分の日



今月の23日は秋分の日です。この日は昼と夜の長さが同じになり、この日を境に昼間がだんだん短くなります。仏教では、この日ははさんで一週間を“彼岸”といい、お墓参りなどをして先祖を偲ぶ習慣があります。毎日無事に過ごせたことに感謝をし、謙虚な心でありたいものです。